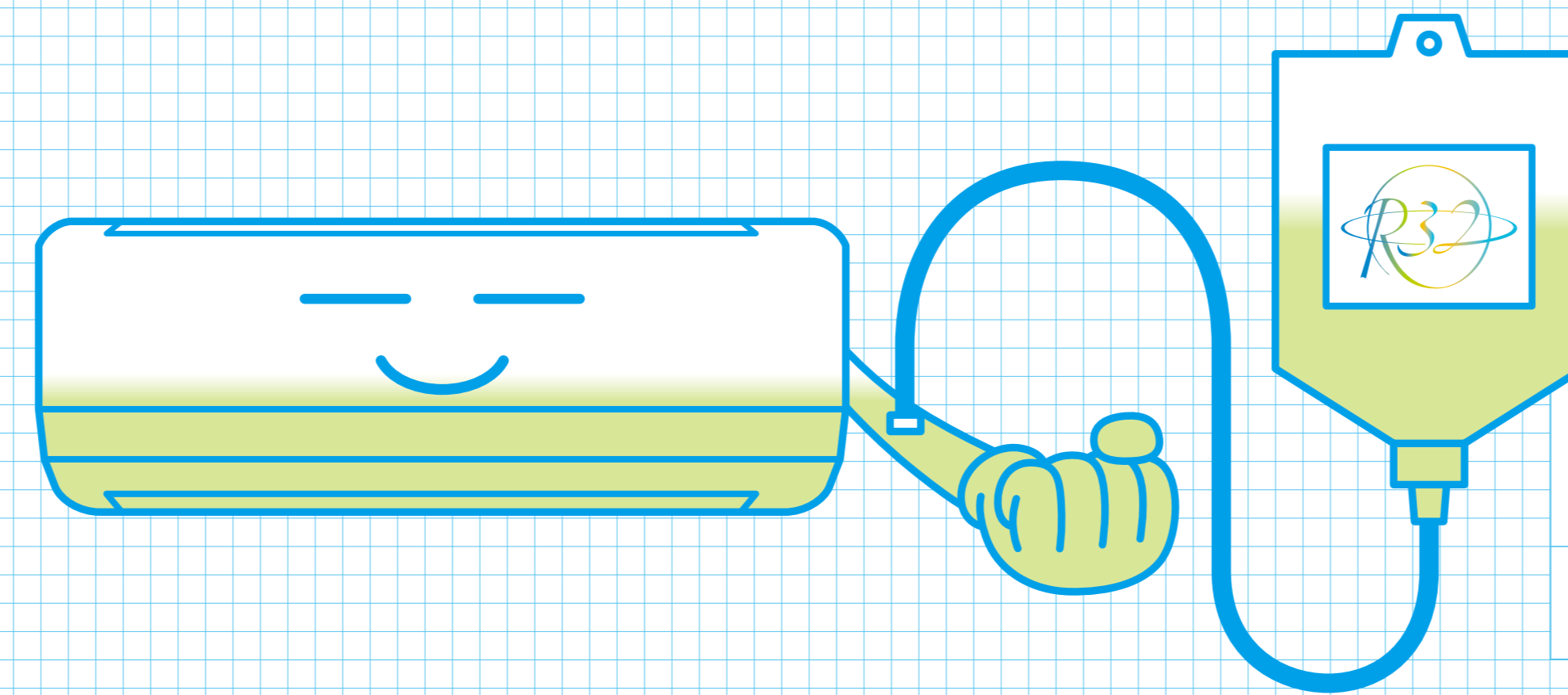


DAIKIN

エアコンに新しい
血液入れました。



環境負荷を1/3^{*1}に抑えた新・冷媒を採用した世界初^{*2}のルームエアコン、発売。

冷媒はエアコンの室外機と室内機をつなぐパイプを人の血液のように回っているガス。冷房時には部屋の熱を外に、暖房時には外の熱を部屋に運ぶ、エアコンにとって欠かせない素材です。その冷媒を、一般に使われているもの(R410A)に比べ地球温室効果係数1/3^{*1}の「R32」に変えた世界初^{*2}のルームエアコン「うるさら7」を、ダイキンは11月に発売しました。「R32」の効果は以前からわかっていましたが、実用化には多くの壁がありました。その壁を乗り越えられたのは、ダイキンが冷媒メーカーでもあったから。空調技術と冷媒技術の合体があってこそ生まれた環境技術の革新。日本に、世界に、広めていきます。

*1 出典：「IPCC第4次評価報告書」温室効果係数(GWP100年値)、温室効果係数2.090(R410A)と675(R32)の比較。*2 当社調べ：2012年11月15日現在、家庭用壁掛け型ルームエアコンにおいて。

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。